

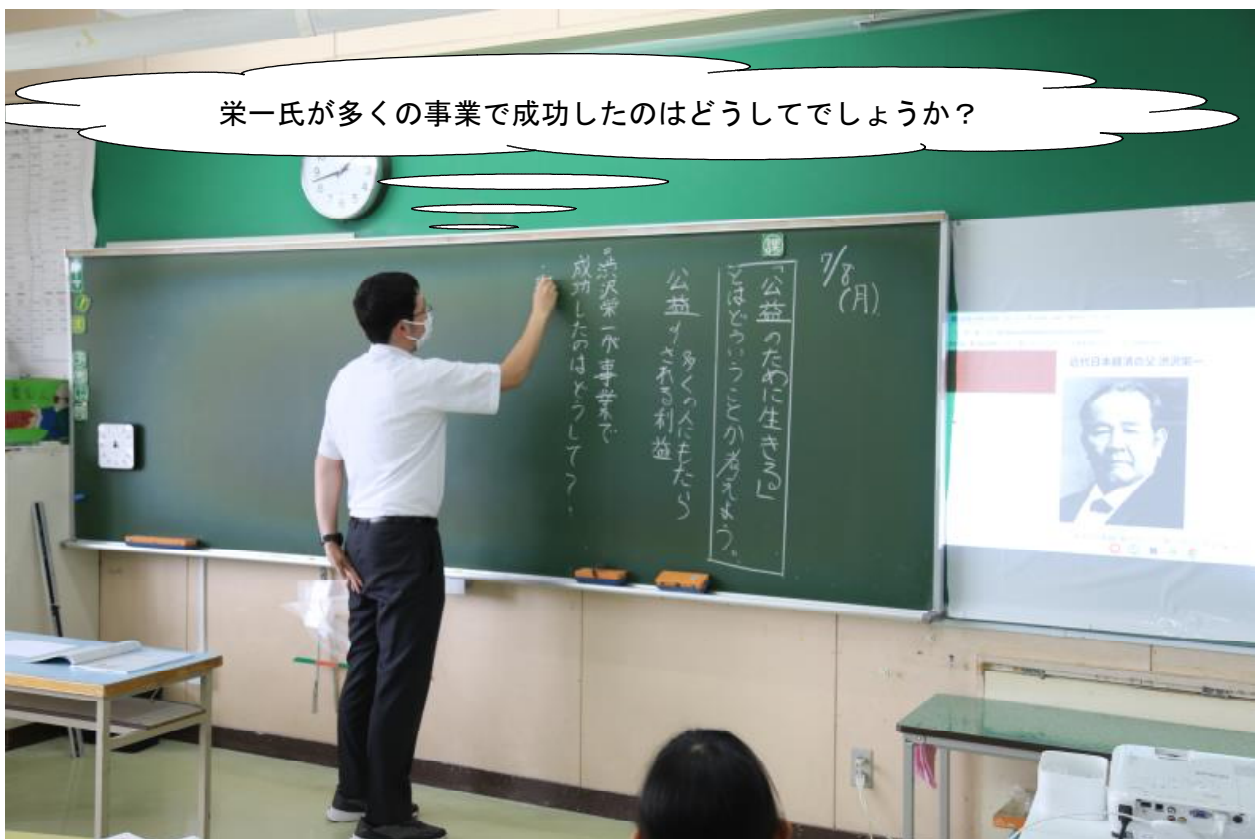
学校運営協議会だより

文責 CSコーディネーター中村

児童生徒が、生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断など規範意識等の道徳性を身につけることは、とても重要です。ここで、道徳の授業を紹介します。

特別の教科 道徳の授業を紹介します

栄一氏が多くの事業で成功したのはどうしてでしょうか？



写真は、7月8日(月)5時間目 5年生「特別の教科道徳」の授業の様子です。

課題 「公益のために生きる」とはどういうことか考えよう。

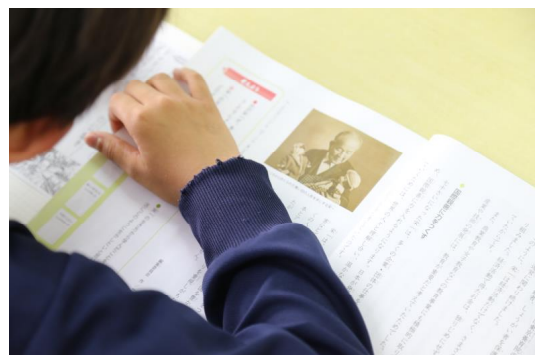
渋沢栄一氏が、多くの事業で成功した理由を考えました。また、栄一氏の生き方から学んだことを、自分の生活にどのように生かしたいと思うか？を深めることができました。

教科書の内容(渋沢栄一の生き方)

- ◇幼少期
- ◇ヨーロッパ訪問から帰国して
- ◇社会福祉事業で多くの人々を救う
- ◇国際親善に力をつくす

考えよう

栄一の生き方からどんなことを学び、どのようなことを考えましたか？

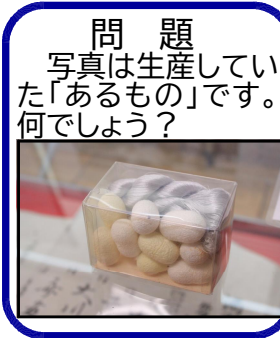


渋沢栄一氏生家を訪問しました

「日本の資本主義の父」と称される渋沢栄一氏は公利公益を重んじて「道徳経済合一説」を説き、数多くの企業の設立に関わりました。また、多くの社会公共事業や国際親善にも尽力し、その旺盛な活動の根底には論語の精神があつたといわれています。写真は、栄一氏の生家です。



生家は、現在も保存され見学することができ、また、館内に展示してある「繭」です。蚕や藍染めの藍玉づくりなど、行方富裕な農家に生まれ、政府の要人として、伊藤博文共、富岡製糸場の設立を推進した。富岡製糸場の工場として、富岡製糸場の工場として、明治の産業革命の出発点であり、明治の中心的な役割を果たした。と、中心の歴史的な授業で学ぶところ。渋沢栄一氏は、新紙幣1万円札の顔になり、21年NHK大河ドラマの主人公にもなり注目されいます。



湧学館図書室で、新紙幣3人の偉人を学びましょう

□3人の偉人に関係する本を紹介します。

- ・声に出して読む 渋沢栄一論語と算盤
- ・津田梅子 ひとりの名教師の軌跡
- ・お札に描かれる偉人たち

渋沢栄一 津田梅子 北里柴三郎

中学生のみなさんへ 是非読んでみましょう



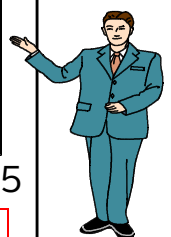
「特別の教科道徳」の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角に考え、自己の生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

年間授業時数は、小学校1年生34時間、2年生以上35時間(1単位時間は45分)、中学生は全学年35時間(1単位時間は50分)です。

学習指導要領より

道徳について説明いたします



次回NO8では、「社会に開かれた教育課程」についてご説明いたします。